

# マンゴー :

## インドから世界への贈り物



4000年以上前からインドで栽培されているインドマンゴー (Mangifera indica) は、インド亜大陸の原産です。親しみを込めて

### 「果物の王様」

と呼ばれているインドの国民的フルーツです。マンゴーにはとても深いストーリーがあります。マンゴー栽培はしばしば世代を超えて行われ、家族や、土や自然との強い絆と本質的に結びついています。マンゴーはインドの有名な民話にも登場します。

王様がマンゴーの木を植えているある年配の男のそばを通りかかり、年齢を聞きましました。老人は、「2か月後には80歳になります。」と答えました。王様は、「何歳まで生きると思うか。」と尋ねると老人は空を見上げ答えました。「それは神だけが知っています」マンゴーの木が実を結ぶのは15年後から20年後だということを知った王は、「君は愚かだ。苦労して木を植えても、その実を食べられないかもしれないじゃないか。」と言いました。

これに対し、老人はお辞儀をしてこう言いました。「私は、私の父と祖父が植えた木の実を食べています。私の子供たちにも同じようにするのが公平ではないでしょうか。」と言います。これに驚いた王様は、「ああ悲しいかな、愚か者は私だ。あなたは今日私に教訓を与えてくれた。」と言いました。

マハラシュトラ州ラトナギリにあるサティヤ-サンファームのウメッシュ氏は3代目で、彼の農場の歴史は1940年代にさかのぼります。彼のマンゴー栽培との関わりは、物語の中の老人を彷彿とさせるものがあります。彼の農場は、完全な有機栽培に転換した最初の農場のひとつであり、環境に配慮した持続可能な農法を実践しています。ウメッシュ氏は現在、プレミアムアルフォンソマンゴーの主要な輸出業者の一人となっています。

インドのマンゴーには、豊かな歴史があります。マンゴーは、甘くておいしい果肉の多い果物が好きな庶民にとって魅力的なものであるだけでなくインドのマンゴーは、

### 「富と繁栄と地位の象徴」でもあります。

最も古いマンゴーのお祝いやお祭りは、中世のデリー・スルタン国の皇帝、アラウディン・キルジに由来しています。彼はマンゴーの愛好家として知られ、シヴァマ・フォートで様々な形のマンゴーを使った豪華な宴を開いていました。マンゴー好きはムガル人にも見られ、アクバル皇帝は現在のビハール州ダルバングの近くに10万のマンゴーの木を有する果樹園を持っていました。西インドでも、マンゴーは深く愛されていました。マラーターの王であるラグナート・ペシュワは、マラーターの覇権の証として1000万本のマンゴーの木を植えたと言われています。

インドのマンゴーは、神の世界にまで存在していることにも言及しましょう。ヒンドゥー教では、ガネーシャ神が熟したマンゴーを

### 「精神的な達成のシンボル」

としてよく手にしています。また、この果物は愛の神、マンマタと関連しています。仏教では、マンゴーは信仰と繁栄の象徴です。お釈迦様が木陰で休めるようにと、マンゴー園を贈られたという伝説があります。

より実用的には、インドのマンゴーはその豊かな味わいに加えて、薬としての価値も持っています。インドに古くから伝わる代替医療であるアーユルヴェーダにおいて、マンゴーは様々な薬として使われています。実際、マンゴーの木の葉を乾燥させたものは、その豊富な抗菌性と防腐性によって傷を癒すことができます。





## もしこのマンゴーが話したら

### 私がどのようにして生まれたか...

インドのとある小さな村に、たくさんの果樹が植えられた果樹園があります。そこには小さなマンゴー畑があり、喜びと愛に満ちた少女、シータが大切に世話をしていました。春になると、私の叔父や叔母、そして両親にあたる様々な木の枝にマンゴーの花が咲き乱れました。蜂の仲間たちは果樹園のあちこちに集まり、甘い蜜を吸って木立を育てていました。やがて、私を含む小さな緑色のマンゴーが花に取って代わりました。



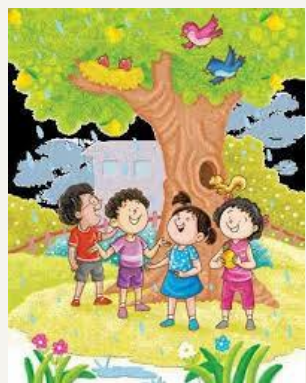
シータのお父さんは、時々子どもたちを連れてやってきました。マンゴーは命の象徴であり、奪い合ってはいけないと子供たちに言い聞かせていました。「みんなの分が十分にあるんだよ」

### 成長して...

体が大きくなるにつれて、より繊細で、より豊かで、よりクリーミーで、よりなめらかになりました。内側から甘さが感じられるようになりました。私は今、木の枝から贅沢にぶら下がっています。村の外れから人々が私を見に来て、私の特徴を褒めてくれることがよくあります。私の香りは国と国との対立を終わらせることができるほどに甘いと言われます。

もうすぐ、シータのお父さんが、私と友達を枝まで迎えに来て、海を渡って、見たこともないような遠い国に送ってくれる時が来ます。これで、シータは学校に通い続けることができ、シータの家族を支えることができます。最終的に私の甘さを、シータや彼女の素晴らしい家族、そしてその先の人々と分かち合うことができるのだという思いを、私はいつも大切にしてきました。

### 私がどのように育ったか...



インドの夏の暑さがピークに達すると、小さなマンゴーが大きくなり、木の枝で熟して色が変わっていききました。シータはよく友達と一緒に私たちに会いに来て、大きな木の陰で遊んでいました。私が好きだったのは、子供たちがかくれんぼをしているときで、私は枝に隠して一人の子供を他の子供から見つからないようにするのに手伝いました。時々、子どもたちはとても興奮して、「マンゴーが熟した、マンゴーが熟した！」と大声で叫んでいました。



# アルフォンソマンゴー

- ODOP地区：ラトナギリ
- 栽培地：コウカン地域 - ラトナギリ、スウィンドゥウルグ、レイガッド、ターナー、パルガール
- マハラシュトラ州
- 国：インド
- 地理的表示（GI）取得



## 際立った特徴

- リッチでクリーミーな質感
- 繊細で繊維質でないジューシーな果肉
- 心地よい香り-非常に香り高い
- 「マンゴーの王様」として知られる

アルフォンソ・マンゴーは「Hapus Amba」とも呼ばれ、その甘さ、コク、風味で人気があります。

アルフォンソ・マンゴーで最も人気のある種類は、ラトナギリ・アルフォンソ・マンゴーとデブガド・アルフォンソ・マンゴーです。この2つに加えて、ライガド・アルフォンソまたはライガド・ハプスと呼ばれる種類もあります。

*The Viceroy Lord Wavell was intrigued by the Hindi name, langda (lame) for Alphonso. Any excuse, even if it's lame, will do to sink the teeth into a heavenly 'langda' aam, he apparently used to say.*

# ケサールマンゴー

- 栽培地：ギルナールの丘陵地帯-サウラーシュトラ地域のジュナーガド及びアムレリ地区
- 州：グジャラート
- 国：インド
- 地理的表示（GI）取得

## 際立った特徴

- 鮮やかなオレンジ色の果肉
- 美味しい甘さと風味
- マンゴーの女王として知られる

ケサールマンゴーは、蒸熱処理、熱水処理、照射処理が可能であること、また丈夫で賞味期限が長いことから高い輸出可能性を持っています。

この品種は通常、4月から5月に市場に出回りますが、モンスーンシーズン後の10月頃から栽培を開始し、青く成熟した段階で収穫する必要があります。

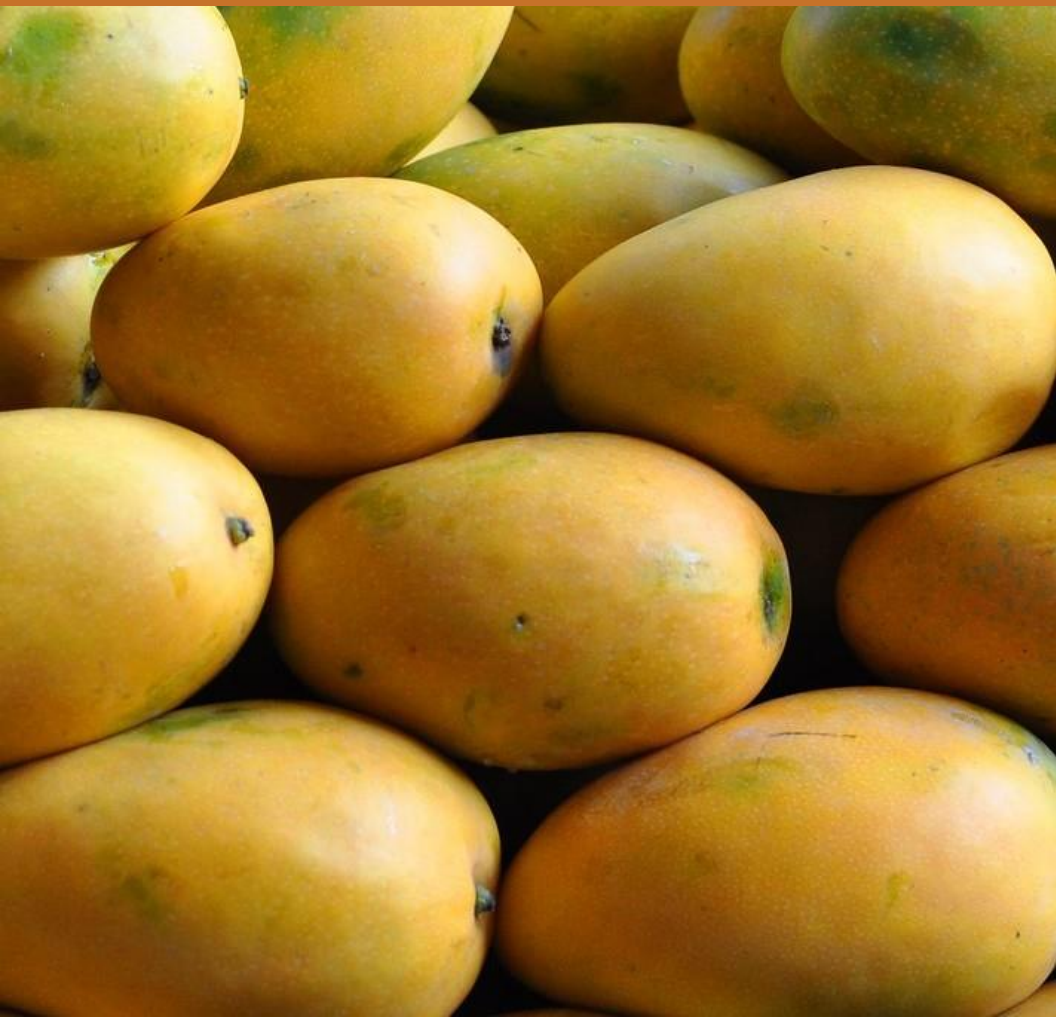
なお、ギル・サンクチュアリ周辺で栽培されたマンゴーだけが、正式には「ギルケサールマンゴー」と呼ばれています。

*tfor, as Khusrau also wrote:  
The choicest fruit of Hindustan,  
tfor garden's pride the mango is sought;  
tfre ripe, other fruits to cut we ban,  
But mango serves us ripe or not.*



# バンガナパリマンゴー

- 栽培地：バンガナパリマンゴーの栽培地の70%はアンドラ・プラデシュ州クルヌール地区
  - 
  - その他の州：カルナタカ州、タミル・ナドゥ州
  - 国：インド
- 地理的表示（GI）：2017年3月登録



## 際立った特徴

- 心地よい香り
- 楕円型
- 光点のある滑らかな皮
- しっかりとした肉質と非繊維質の果肉
- 楕円形の核果
- 柔らかい繊維を持つ薄い種

ビタミンAとビタミンCが豊富に含まれています。

マグネシウムとカリウムを多く含み、果実に含まれる酵素の助けにより消化プロセスを調整します。また抗酸化物質を多く含み、B6、A、E、B5、Kなどのビタミン類、食物繊維や炭水化物、銅、葉酸などを含んでいます。

缶詰に適したシーズン半ばの品種です。

*The Urdu poet Shabbir Hasan Khan 'Josh' Malihabadi's only weakness in life was mango. "Nothing weakens me more than mangoes," the short-tempered great poet himself admitted.*